物品借用申請書

令和　　　年　　　月　　　日

　　環境政策課長　　あて

申請者　団体名：

代表者名：

担当者名：

電話：

下記イベントについて、イベントにおける坂戸市環境配慮マニュアルのとおり取り組みますので、関係書類を添えて申請します。

記

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| イベントの名称 |  | | | |
| イベントの内容 |  | | | |
| 開催日程 | 年　　月　　日（　）～　　月　　　日（　） | | | |
| 開催場所 |  | | | |
| 来場予定者数 | 約　　　　　　　人 | | | |
| 啓発物品等 | 【のぼり旗】   * ストップ地球温暖化　　（　旗） * ポイ捨て禁止　　　　　（　旗） * アイドリングストップ　（　旗）   【その他】   * ポール　　　　　　　　（　本） * 啓発パネル　　　　　　（１枚） * 物品を返却する際に、環境配慮チェックシートの提出をお願いします | | | |
| 【分別収集袋】（可燃、資源の合計６袋まで）   * 可燃(45ℓ)　　袋、可燃(30ℓ)　　袋 ※１袋10枚入り３袋まで * 資源(45ℓ)　　袋、資源(30ℓ)　　袋 ※１袋10枚入り３袋まで | | | |
| 借用予定日 | 月　　日（　） | 返却予定日 | 月　　日（　） |

【環境配慮チェックシート】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 段階 | 取組内容 | チェック |
| 企画 | 想定来場者数や感染症対策等を考慮し、適切な規模の会場や設備を設定した。 | □ |
| イベントに伴い、周辺の自然環境及び生活環境に与える影響を確認した。（ごみによる悪臭や音響機材による騒音、振動対策等） | □ |
| 植樹や生物の放流等を企画する場合は、必要に応じて管理者等に相談した。 | □ |
| 環境配慮に関する担当者等を選任した。 | □ |
| 準備 | 物品を購入する際は、環境ラベル（エコマークやグリーンマーク等）が付いた商品を購入した。 | □ |
| チラシ等の印刷物は、インクや再生紙等環境に配慮した素材のものを使用した。 | □ |
| チラシ等の印刷物は必要部数の把握に努め、無駄のないように用意した。 | □ |
| ホームページやパンフレット、ポスター等に環境配慮について記載し、理解と協力を呼び掛けた。   * 参加者に公共交通機関の利用や自動車の乗り合わせの実施 * マイバック、マイボトル等の持参 * クールビズ・ウォームビズの実施　　　　　　　　　　　　等 | □ |
| 展示パネルや看板、機材等は、繰り返し使えるものを使用した。 | □ |
| 運営スタッフや出店者等に環境配慮について指導を行った。 | □ |
| 機材の搬入等自動車を使用するときは、エコドライブを徹底した。 | □ |
| 当日 | イベントに伴い発生する公害防止対策を講じた。  （ごみによる悪臭や音響機材による騒音、振動対策等） | □ |
| 分煙、ポイ捨て禁止、ふん害防止等を実施した。 | □ |
| 自然観察等を行う場合は、植栽区域の立ち入りや動植物の採取は最低限とし、必要に応じて指導者や管理者の指示に従った。 | □ |
| 会場の空調の設定温度を適切に行い、無駄な稼働時間がないよう配慮した。 | □ |
| 暑さ対策として、日陰の準備や空調の適正使用、水分補給設備、WBGT計測値による屋外活動の規制、情報周知や救護体制の確立等の対策を講じた。 | □ |
| 分別区分に応じたごみ分別ボックスを設置し、参加者にごみの削減と分別への協力を呼び掛けた。 | □ |
| 食器は洗って繰り返し使える容器を導入した。 | □ |
| 主催者や関係者はできる限り公共交通機関を使用した。 | □ |
| 駐車場等では自動車のエンジンを停止した。 | □ |
| 駐輪場の確保に努めた。 | □ |
| 環境配慮に関する取組を掲示する等、参加者に理解と協力を呼び掛けた。 | □ |
| 片付け | 使用した区域の清掃を実施した。 | □ |
| イベントで発生したごみは適切に処理した。 | □ |
| 機材の搬入・搬出等自動車を使用するときは、エコドライブを徹底した。 | □ |